

人のうごき

平成24年6月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

山谷 乃彩 ^{のあ} ちゃん	(彰・裕子)	港町
九谷 岳瑠 ^{たける} くん	(修司・瞳)	南2の2
前川 心愛 ^{ここあ} ちゃん	(翔太・朝美)	南2の5
逢坂 煌 ^{こう} くん	(健一・奈穂美)	南7の3
佐々木 美糸 ^{ひいと} くん	(正志・聡絵)	寿町

ごけっこん

長内 武寿 ^{たけし} さん	瀧 佳重 ^{よしのぶ} さん	港町
中屋 要 ^{かね} さん	奥山 美乃里 ^{みのり} さん	南4の2

おくやみ

五十嵐 敬子 ^{たかし} さん	73歳	港町
山崎 マミ子 ^{まみこ} さん	69歳	南3の6
谷 英夫 ^{えいお} さん	73歳	南4の6
島 礼子 ^{れいこ} さん	84歳	南5の1
松原 テイ ^{てい} さん	85歳	南7の6
吉中 文一 ^{ぶんいち} さん	86歳	栄町
忠津 アヤ子 ^{あやこ} さん	74歳	築別
石川 長太郎 ^{ながたろう} さん	92歳	天売



工藤 俊也^{しげお}さん (52才・南町)

羽幌には炭砒があつた
その記憶を次の世代に
語り継いでいきたい

「炭砒閉山から42年。手付かずのまま朽ちていくばかりの炭砒の姿が、炭砒や廃墟、また鉄道に感心のある方々の間で注目されているんですよ。」そう語るのは、沿岸ハイヤーに勤務する工藤さん。

炭砒跡地を羽幌の新たな観光資源にしようと、10年ほど前から炭砒跡地を案内するガイド役を務めています。昨年は観光協会の「羽幌炭砒探訪マップ」の作成にも写真や資料を提供され、今年も現地の案内板の設置にも協力。

「昔ね、羽幌は見る所なんもない……ってハイヤーに乗せた観光客に言ったら、もっと勉強して案内してほしいっ

て怒られてさ。その言葉に影響されたんですよ。」

「炭砒マンの遺族を炭砒跡地に案内した時、すごい感動されたことがあって、で、炭砒跡地を巡る企画を考えたんなんです。写真を撮ったり、地図や資料を調べて勉強して、案内のマップも作りました。」

「7月15日に、沿岸バス60周年イベントで、炭砒の写真を羽幌ターミナルに展示する企画もあるんですよ」と熱く語ってくれました。※炭砒跡地は、建物が老朽化しているので気を付ける事と、熊の出没にも注意が必要とも強調されていました。

編集後記

表紙は、羽幌小学校の運動会、羽小伝統の競技、みこしリレーです。アンカーまでは、白組がリードしていたのですが、交代する半被の受渡しにてこずってしまい、紅組に敗れてしまいました。半被がバトン替わりとなるため、スムーズに渡せるかが鍵となります。私も羽小っ子でしたので、もちろんこの競技に参加しました。どうしたらうまく受け渡すことができるのか、みなで考え、何度も練習した記憶があります。リレー競技は、バトンの受渡しによって順位が大きく変わってしまうところが、醍醐味ですよ。

さて、もうすぐロンドンオリンピックです。道内出身選手もたくさん出場します。子ども達の運動会のように、みんなが応援しましょう！(N)

人口と世帯数(6月末)

人口	7,932人	(- 2)
男	3,765人	(+ 6)
女	4,167人	(- 8)
世帯数	3,847世帯	(+ 3)

()は前月比

